

- 📍 ホーム
- 📍 ご挨拶
- 📍 開催概要
- 📍 プログラム
- 📍 演題募集
- 📍 参加募集
- 📍 会場案内
- 📍 お問い合わせ

第4回ロボットリハビリテーション研究大会 開催概要

大会名	第4回ロボットリハビリテーション研究大会
テーマ	『ロボットリハビリテーションの可能性と追求』
会期	平成 26 年7月26日(土) 受付9時00～ 開会9時30～
会場	札幌コンベンションセンター 小ホール 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1 【交通アクセス】
大会長	藤原 秀俊(医療法人秀友会 札幌秀友会病院 理事長)
基調講演	「脳の可塑性とロボットリハビリテーション」 講師：高草木 薫氏(旭川医科大学脳機能医工学研究センター教授)
特別講演	「ロボットスーツHALによるリハビリテーションの臨床応用～サイバニクスによる随意運動機能改善とは何か？HAL-HN01治験のめざすもの～」 講師：中島 孝氏(国立病院機構新潟病院 副院長 生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)に関する医師主導治験の実施研究, 研究代表者)
パネルディスカッション	テーマ「ロボットリハビリテーションの可能性」
一般演題	口頭発表(指定演題を含む)

当研究大会は北海道医師会の承認を得て、「北海道医師会認定生涯教育講座」(5単位)カリキュラムコード15(臨床問題解決のプロセス)、62(歩行障害)、78(脳血管障害後遺症)83(相補・代替医療)として開催致します。
生涯教育制度の取得単位登録には、氏名以外に「医籍登録番号」が必要です。受付時に忘れずにご記入願います。
ご記入いただきました情報は、本研究大会実施報告書の作成のみに使用致します。

ロボットの応用哲学研究会主催
学術講演会 医学とロボット

難病における画期的治療法の 開発における転回

(philosophical revolution)

～ロボットスーツ医療機器モデルHAL-HN01治験とは何か～

講演者: 中島孝氏
国立病院機構 新潟病院副院長

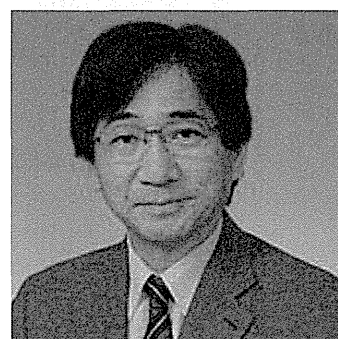
厚生労働省難治性疾患等実用化研究事業「希少性難治性疾患神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HALHN01)に関する医師主導治験の実施研究班」研究代表者。

講演内容: ロボット工学の医学への応用が始まろうとしている今、治療への応用がどのように行われるのかご紹介頂き、またその社会的意味について考察して頂く予定。

指定質問者:

本田康二郎氏(金沢医科大学)

中澤栄輔氏(東京大学医学部)



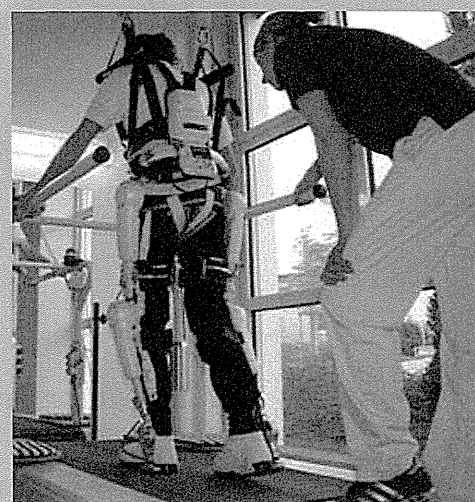
(指定質問のあと、来聴者からの質問も含めたディスカッションを行います。)

日時 8/9(土)14:30-17:30
場所 京都大学文学部 第一講義室

来聴に関して、事前の申し込みは unnecessary です。

この講演会は

- ・ 科研費基盤研究(C)「工学的関心に則したロボット倫理学の構築」(課題番号25370033)
- ・ 科研費基盤研究(B)「組織の社会的責任」に関する哲学・倫理学的研究」(課題番号25284004)
- ・ 京都大学応用哲学・倫理学教育研究(CAPE)の援助を受けて行われるものです。



© CYBERDYNE株式会社

第4回 レギュラトリーサイエンス学会学術大会
SOCIETY FOR REGULATORY SCIENCE OF MEDICAL PRODUCTS

TOP

プログラム

一般演題募集

参加申込

出版社展示募集

学会ウェブサイトへ

レギュラトリー
サイエンスの世界展開

平成26年 2014年
9月5日(金)・6日(土)

大会長 近藤 達也
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 理事長

開催場所 一橋大学 一橋講堂
千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター

Photo by S-Hoshino.com

■シンポジウム5 (9:30~11:30)

会場:中会議場3,4

テーマ 医療機器における治験の位置づけ

座長 田村 敦史 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構)、山根 隆志 (神戸大学)

演者 中島 孝 (独立行政法人国立病院機構新潟病院)
「ロボットスーツHAL-HN01の医師主導治験の経験から」

勝呂 徹 (東邦大学、一般社団法人日本人工関節研究所)
「整形外科品目の臨床治験」

小野 稔 (東京大学大学院)
「補助人工心臓の臨床試験の現状と今後」

中野 壮陸 (公益財団法人医療機器センター)
「医療機器に関する臨床試験の国際比較」

昌子 久仁子 (テルモ株式会社)
「医療機器の臨床治験にかかる課題」

一般社団法人 レギュラトリーサイエンス学会事務局

〒160-0016東京都新宿区信濃町35信濃町煉瓦館 一般財団法人国際医学情報センター内
電話 03-5312-1466 FAX 03-5361-7091 E-mail srsm-office@imic.or.jp

COPYRIGHT(C) 2010-2014 SOCIETY FOR REGULATORY SCIENCE OF MEDICAL PRODUCTS. ALL RIGHTS RESERVED.

第12回 三島・北河内地域神経難病医療ネットワーク検討会

日時 9月13日(土) 14時30分～17時

会場 田辺三菱製薬(株) 本社2階会議室

プログラム

報告

「難病対策の改革について」

大阪府健康医療部健康づくり課 疾病対策グループ

特別講演

(1) 「パーキンソン症候群の精神症状とその対応」

公益財団法人 浅香山病院
精神科院長

谷口 典男

(2) 「ロボット HAL の神経難病患者への医療機器としての応用」

独立行政法人 国立病院機構 新潟病院
副院長

中島 孝

第1回 HAM 治療研究研修会

第8回全国 HAM 患者友の会「アトムの会」全国大会

日 時：平成 26 年 9 月 13 日(土) ～ 9 月 14 日 (日)

場 所：ホテル グランドアーク半蔵門 (<http://www.grandarc.com/>)

〒102-0092 東京都千代田区隼町 1-1 TEL：03-3288-0111

— プログラム —

◆ 9 月 13 日 (土) 3 階「華の間」

17:00～17:30 受付

17:30～17:35 ご挨拶 HAM 患者友の会「アトムの会」会長 石母田 衆

17:35～18:15 講演：指定難病制度と医療費助成について（仮題）
新しい難病対策の推進を目指す超党派国会議員連盟 事務局長
衆議院議員 江田 康幸先生

質疑応答

18:30～20:20 お食事・交流会
ロボットスーツ HAL 展示・デモンストレーション、アロマケア体験、
その他企画あり。お楽しみに。

20:20～20:30 ご挨拶

◆ 9 月 14 日 (日) 3 階「華の間」

9:30～10:00 受付（会場内にてロボットスーツ HAL 展示およびデモンストレーション実施）

10:00～11:00 講演：「HAM に対する日本発の革新的治療の実用化に向けて
～医師主導治験の概要～」
聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター 山野 嘉久先生

11:00～12:00 講演：「HAM 歩行障害に対する新しい治療、
ロボットスーツ HAL-HN01 による治験について」
独立行政法人国立病院機構新潟病院 中島 孝先生

12:00～12:50 質疑応答

ロボットスーツ HAL デモンストレーション

12:50～13:00 閉会のご挨拶

二次会のご案内

9 月 13 日 (土) 20:30～22:00

グランドアーク半蔵門 5 階「ハーモニー」 会費：4,000 円

※お申込みおよび会費は研修会受付にて承ります。

Walk Again 2014

日本せきずい基金創立 15 周年記念 Walk Again 2014

脊髄再生国際シンポジウム 慢性期への挑戦

日時

2014年

9月20日(土)12時~16時

入場無料 (資料代 1,000 円)、同時通訳あり

会場

東京国際交流館 定員400名

東京都江東区青海 2-2-1

講師

岡野 栄之 (慶応大学教授 / 生理学教室)

「iPS 細胞による中枢神経系の再生医療」

James Fawcett (ケンブリッジ大学教授 /
脳修復センター所長)

「脊髄修復の新たなアプローチ: 可塑性・再生・補装具」

田島 文博 (和歌山県立医大教授 / リハビリ科)

「徹底した集中リハの必要性—高負荷・高強度・長時間—」

中島 孝 (国立病院機構新潟病院副院長 / 神経内科)

「ロボットスーツ HAL による随意運動障害治療」

(順不同、敬称略)

司会

山本ミッシェール (フリーアナウンサー)

参加申込: <http://www.iscf@iscf.org> 参照

参加者: 患者・家族、患者団体、医療福祉関係者、
研究者、一般、学生

[後援] 文部科学省 / 厚生労働省 / 東京都 / 日本再生医療学会 / 日本脊髄障害医学会 / SMA (脊髄性筋萎縮症) 家族の会 / 全国脊髄損傷者連合会 / 全国多発性硬化症友の会 / 難病の子ども支援全国ネットワーク / 日本 ALS 協会 / 日本 IDDM ネットワーク / 日本筋ジストロフィー協会 / 日本難病・疾病団体協議会 / 日本脳外傷友の会 / 日本網膜色素変性症協会

HAMの新薬とロボットスーツによる治療法についての講演会



参加費無料

定員 100名

日時：平成26年9月23日（祝）13:00～15:30

会場：福岡市市民福祉プラザ 『ふくふくプラザ』 5階502研修室

講演1

HAM 歩行障害に対する新しい治療、ロボットスーツ HAL-HN01 による
治験開始についてのお知らせ

独立行政法人国立病院機構新潟病院 中島 孝先生

講演2

HAM に対する日本発の革新的治療の実用化に向けて～医師主導治験の概要～
聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター 山野嘉久先生



主催：NPO 法人 スマイルリボン (<http://smile-ribbon.org/>)

共催：スマイルリボン福岡支部 (<http://www.ac.auone-net.jp/~srfuk/>) アトム会の会福岡支部

難治性疾患等実用化研究事業 「HAM の革新的な治療法となる抗 CCR4 抗体療法の実用化に
向けた開発」研究班、「希少性難治性疾患－神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための
新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット (HAL-HN01)
に関する医師主導治験の実施研究」研究班

★問い合わせ

会場

福岡市中央区荒戸3丁目3-39

※予約された方を優先いたします。

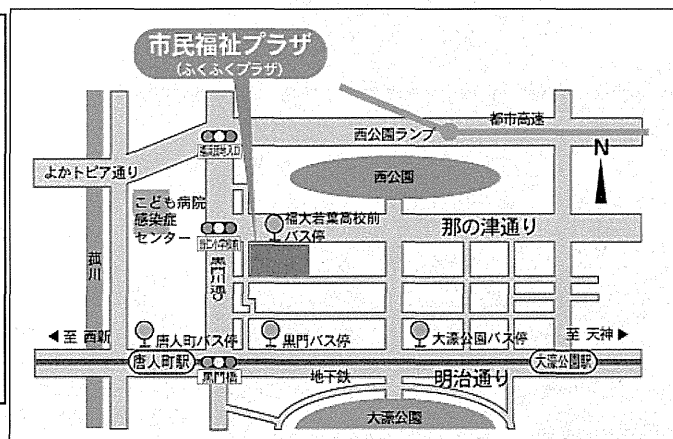
スマイルリボン福岡 (森永)

080-4296-1918

(当日の連絡先は上記へお願いします)

事務局 099-800-3112

メール nakusukai@po.minc.ne.jp



柏崎薬剤師会学術講演会

謹啓

時下、先生方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、この度下記の要領にて柏崎薬剤師会学術講演会を開催させて頂くことになりました。
ご多忙中とは存じますが、是非ともご出席賜りますようお願い申し上げます。

※柏崎薬剤師会非会員の薬剤師の先生方には講習料として、当日1000円徴収いたします。

謹白

日時

2014年9月26日(金) 19:00~20:20

場所

柏崎市文化会館 アルフォーレ 会議室

新潟県柏崎市日石町4番32号 TEL 0257-21-0010

情報提供 19:00~19:20

「ドパミン作動性パーキンソン病治療剤 ニュープロパッチの適正使用情報」

大塚製薬株式会社 学術課 田邊優子

特別講演 19:20~20:20

座長: 独立行政法人国立病院機構新潟病院
薬剤科長 樋口 順一先生

「パーキンソン病の治療 ~最新の薬物療法とリハビリテーション~」

演者: 独立行政法人国立病院機構新潟病院
副院長 中島 孝先生

※軽食をご用意しております。

当日はご参加頂いた確認の為、ご施設名、ご芳名のご記載をお願い申し上げます。ご提供頂きました個人情報は、講演会のご出席者の確認のためにのみ使用いたします。個人情報、主催会社、共催関係者のみで使用し、その他第三者に開示・提供することはありません。個人情報は、弊社の個人情報保護方針に基づき、安全かつ適切に管理いたします。何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

【お問い合わせ先・管理者】 〒940-0066 新潟県長岡市東坂之上町2丁目1-1 三井生命長岡ビル10階 大塚製薬(株) 高崎支店 長岡出張所 Tel. 0258-36-2281

共催: 柏崎薬剤師会 大塚製薬株式会社

神経難病ケアにおけるサポートグループ研修会(基礎編)のご案内

一昨年、昨年と開催いたしました「神経難病の患者・家族支援のためのサポートグループ(集団アプローチ)セミナー」のご案内を申し上げます。1年目を基礎研修、2年目をステップアップ研修として実施いたしましたので、今年は再び基礎研修を行います。神経難病ケアを行っている皆様に、進行する病態のさまざまな局面で葛藤を抱える患者・家族の支援として、患者・家族に内在する力をひきだし、自己肯定感を取り戻していただけの支援法として集団アプローチ(集団心理療法)におけるコミュニケーション援助技法を紹介、研修いたします。シナリオロールプレイによる実習を経験していただき、実際の臨床におけるコミュニケーション場面の困難解決を目指します。初めてご参加いただく皆様、これまでに引き続きご参加いただく皆様のいずれの方々にも学習の機会となりますようにプログラムを工夫し、楽しい研修会にしたいと思います。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日時：平成26年11月1日(土)10:00~16:30 (9:40より受付開始)

場所：東京国際フォーラム 7F G701会議室 <http://www.t-i-forum.co.jp/user/facilities/conference/>

対象者：神経難病者・家族ケアに関心のある医療者30名 先着にて締め切ります。

(医師、臨床心理士、MSW、作業療法士、理学療法士、看護師、保健師、難病ケアの研究者、患者支援団体、難病行政担当者など)1施設の参加者が2名以上の場合は調整をお願いすることがございます。

申し込み：別添の参加申し込み書をメール又はFAXでお送りください。

国立病院機構新潟病院 臨床研究部(担当：植村・牧野)

TEL/FAX：0257-22-2130(直通) e-mail：kenkyuuhan@niigata-nh.go.jp(研究班事務局)

主催者より折り返しご参加決定のお知らせを致します。

参加定員の都合により、ご参加いただけない場合がございますがご了承ください。

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 10:00~10:20 | 医師からみた「難病ケアとしてのサポートグループ」
国立病院機構新潟病院 副院長 中島孝 |
| 10:20~10:50 | 講義 「集団心理療法のアプローチと促進的会話技術」
国立病院機構新潟病院 臨床心理室長 後藤清恵 |
| 11:00~12:00 | 実習1 シナリオロールプレイによる「促進的会話の技術」
司会：後藤、協力：新潟病院スタッフ
1) 話の中の3つの要素を聞き分ける
2) キーワードの把握(go around) |
| 12:00~13:00 | 昼休み 一食は各自でお取りください。(講師とスタッフは打ち合わせを行います。) |
| 13:00~14:00 | 実習2 シナリオロールプレイによる「促進的会話の技術」
3) キーワードを使い、会話の促進と混戦を解決(ネットワークサイクル)
4) キーワードを使い、肯定的リフレーム(フィードバック) |
| 14:05~15:35 | 実習3 仮想サポートグループを通して促進的会話技術の学習 |
| 15:40~16:20 | 質問と討議 |
| 16:30 | 終了 *プログラム時間及び内容を変更する場合がございますが、終了時刻に変更はございません。 |

主催：H26年度 難治性疾患等実用化研究事業 希少性難治性疾患-神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)に関する医師主導治験の実施研究班 研究代表者 中島孝

H26年度 難治性疾患等政策研究事業 新規薬剤・機器の研究開発を必要とする難治性神経・筋疾患患者におけるナラティブに基づく難治性疾患データベースと臨床評価法に関する研究班 研究代表者 橋本操(研究分担者 中島孝)

患者主体のQOL評価法「SEIQoL-DW」を学び、活かす実習セミナー
(The Schedule for the evaluating of the individual Quality of Life-direct weighting: SEIQoL-DW)

患者の主観的評価に基づく医療 QOL 評価の新しい実践

医療の目的は患者のQOL(Quality of Life:生活の質)の向上です。QOLの測定法は数々ありますが、客観的な視点で一元化する方法を、緩和ケアや難病ケア領域など治療を目標とできない領域に適用すると、時として「死」よりも低い評価値がでて、ケアの視点を失うだけでなく、医療の配分の視点で切り捨てられる危険をはらんでいます。患者の主観的QOL評価法としての「SEIQoL」は、アイルランドで開発されましたが、代表的な患者の報告するアウトカム(PRO: Patient reported outcome)とされ、臨床研究に多く使われています。人は状況の変化に応じて生活の中で大切に考える事柄やその優先順位を変化させ、評価を変えています。それをとらえることで、真の緩和ケアの実践を可能にします。(参考文献:中島孝、医療におけるQOLと緩和についての誤解を解くために、医薬ジャーナル、47:1167-1174, 2011)この「SEIQoL」を理解し、ipodを用いた最新システムで体験するセミナーを開催します。今回の会は、医療、介護のスタッフのみならず、患者さん・ご家族の参加も有意義になるものと思います。

日時 平成26年11月2日(日) 13:30 ~ 17:00
場所 北海道医療大学 札幌サテライトキャンパス 講義室A・B
札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 12F
講師 中島 孝(国立病院機構新潟病院副院長)
コーディネーター 井手口 直子(帝京平成大学薬学部) 佐々木 栄子(北海道医療大学)
中山 優季(東京都医学総合研究所難病ケア看護研究室)
対象 難病ケア、緩和ケアに関心がある医療職・介護職・患者・家族・関係者・ボランティア
定員 先着50名
参加費 無料

プログラム

- 現代における喪失のケアと緩和ケア、難病ケア
- QOLとは何か: ケアを改善するためにQOLの誤解を解きどのように理解するとよいか?
- 実践演習: SEIQoLにおける面接の基本とSEIQoLにおけるCueの抽出の説明
ロールプレイ法によるSEIQoLのCue抽出(ステップ1)
ロールプレイ法によるCueのレベルの決定(ステップ2)
SEIQoLにおけるCueのWeightの推定(ステップ3)
SEIQoLのデータ入力と解析・評価

◆ お申し込み・お問い合わせ ◆

医学研中山 優季まで、**申込期限:平成26年10月24日(金)**

裏面の申込用紙にて記入のうえFAX/Emailにてお申し込みください。

nakayama-yk@igakuken.or.jp

(FAX) 03-6834-2291 (医学研難病ケア看護研究室)

主催:「厚生労働省難治性疾患等実用化研究事業、希少性難治性疾患-神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)に関する医師主導治験の実施研究班」「難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)新規薬剤・機器の研究開発を必要とする難治性神経・筋疾患患者におけるナラティブに基づく難治性疾患データベースと臨床評価法に関する研究」 後援:日本難病看護学会